



凡事徹底

内子中学校長 西本 晃

夏を制する者は〇〇を制す！（1学期式辞より抜粋）

今年度は、「反転攻勢」を合言葉に、過去2年間の経験を生かし、授業や学校行事、部活動等を例年に近い形で行うことができました。

まず、ブロック抽選・結団式では、3年生のリーダーシップの下、最高の盛り上がりを見せてくれました。入学したばかりの1年生も、静と動のけじめを付け、本気になって取り組む先輩の姿を見て、多くのことを学び、内中生の凄さを感じたのではないのでしょうか。

また、生徒総会では、「学校をより良くするために」をテーマに話し合いました。ルールやマナーの必要性を理解し、真剣に意見を述べる皆さんの姿を見て、今年度も素晴らしい活動ができることを確信しました。きっと、体育大会や文化祭では、今まで見たことのない素晴らしいパフォーマンスが見られるのではないかと期待しています。

そして、3年生にとって、3年間の集大成となった市郡総体、陸上・水泳大会では、3年ぶりに家族の応援を受けながら大会に臨みました。感謝の気持ちを届けようとプレイすることで、自分たちが練習してきたことをしっかり出し切り、やり切ることができたのではないかと思います。

勝負である以上、結果はもちろん大切ですが、それ以上に3年生が下級生のために、部活動の大切な部分を教えてくれたことに心から感謝しています。

さらに、それらの基となる、挨拶や清掃、係活動を始めた日々の生活でも、決して手を抜かず、後ろ姿で手本を示してくれました。1年生が、2・3年の「凡事徹底」、当たり前のことを人がまねできないくらい非凡に行っている格好良さに習い、日に日に成長していくのを感じました。見る見るうちに、1年生は真の中学生に、2年生は内中生に、そして、3年生は内中生の手本になったと心から思います。

ただ、何も問題がなかったわけではありません。体育館の壁への落書き、傘の破損を始め、未だに解決できていないことがあるのも事実です。

どうか、誰もが安心して生活できる、通いたい学校になるよう、まずは、一人一人が真剣に考え、そして、全員で支え合い高め合いながら行動していきましょう。

さて、いよいよ明日から42日間の夏休みに入ります。四国大会、全国大会に繋がる県総体、吹奏楽コンクール、3年生の修学旅行等、大きなイベントが予定されています。3年生は、補習や体育大会の練習も行われます。心の底から、やり切ったと思える最高の夏休みになることを願っています。

最後に、毎年、1学期の終業式で、次の言葉を紹介しています。

「夏を制する者は、受験を制す」、「夏を制する者は、総体を制す」、「夏を制する者はコロナも制す」。

この夏休みの我慢や頑張りが2学期以降の活動はもとより、皆さんの今後の生活に大きな影響を与えます。是非とも、それぞれの〇〇に向け頑張ってください。

個人懇談、学校評価を受けて

個人懇談、学校評価では、たくさんの御意見をありがとうございました。出された御意見について、取り急ぎ、下記のことをお知らせいたします。その他のことは、教職員で検討し、成果と課題（まとめ）としてHP等で報告させていただきます。

① コロナによる臨時休業措置等の基準について

⇒ 現在、生徒や家族、教職員が陽性や濃厚接触者になった場合は、保健所等からの指示で、入院や自宅療養等の対応が取られます。学校では、保健所の指導をいただきながら、町教委や学校医に相談し、学校内での活動が感染の原因となっていないか等を調査し、感染者が増加しているなど、臨時休業や学級閉鎖の対応が必要だと判断した場合に行うことにしておりますが、具体的な数字は決まっていないのが現状です。

② 修学旅行実施の判断について

⇒ 今月に入り、特にコロナの感染が増加しており、先週3年生と保護者を対象にアンケートを実施しました。アンケートの結果を参考にしながら慎重に判断したいと考えています。また、現在、内子町内4つの中学校が夏休み後半に関西方面での修学旅行を計画しており、町教委や他校とも連携していく予定です。それらを基に、最終的には、旅行者さんにも参加していただく7月28日の説明会で、保護者の皆さんと決定したいと考えています。どうか、御理解・御協力をお願いいたします。

③ 試行期間を延長していた校則について

⇒ ア 女子で、「髪の毛の長い生徒は、体育の授業や部活動時に髪を団子にしてもよい」について、特に問題がなかったことから、正式に改正します。

イ 男子についても、同様に、「横髪が耳にかからないことが望ましいが、2cm程度の猶予を認める」、「びんが耳たぶより下にならない」ことを正式に改正します。ただし、基準が曖昧であったことから、今後は、身だしなみ検査時だけでなく、常に、びんが耳たぶより下にならないよう、毎日の身だしなみチェックで確認していきます。また、風紀委員会で規定を明確にした上で、生徒・教職員に周知し、人によって差が出ないように取り組んでいきます。

地区懇談会はできなかったけれど・・・

今年度も地区懇談会を中止いたしました。学校と家庭が連携を図るための資料として、昨日、地区懇談会資料を配布いたしました。特に、交通事故や水の事故に遭わないよう十分気をつけること、また、生徒だけでは入れない場所に行ったり、生徒だけで外泊をしたりしないこと等の徹底をお願いします。

夏休みは、甘い誘惑に負けて、非行に走ったり、犯罪に巻き込まれたりすることも、少なくありません。最近では、SNSによるトラブルも多数報告されています。中には、他人の人権を傷つけたり、犯罪に繋がったりするケースも報告されています。「家の子は大丈夫」と油断するのではなく、日頃から家庭等での温かい会話を通して、正しい方向に導くことが私たち大人の仕事だと思います。

また、生徒には、計画を立てて生活することの大切さを伝えています。どうか、42日間の夏休みが、楽しく、かつ充実した休みとなるよう、御協力ください。